

2011年2月 第348号



スズキ労連

2011年
2月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079
スズキ関連労働組合連合会
発行人 加藤幸博
編集人 小杉 尚

“2011年総合生活改善”
取り組み方針を決定。

第61回中央委員会開催!



スズキ労連は2月3日(木)にSUN会館大ホールにて第61回中央委員会を開催いたしました。各加盟労組から中央委員96名、傍聴者30名が参加したこの中央委員会では「2011年総合生活改善の取り組み方針(案)」の審議を行い、満場一致で決定いたしました。また、今年4月施行予定の統一地方選挙における組織内候補者である、田口 章(静岡県議会議員選挙)、徳光 卓也(浜松市議会議員選挙)必勝に向け、全員で決議をしました。

「2011年総合生活改善の取り組み」は、決定した労連方針に基づいて、今後各組が職場を交え、独自の要求を組み立てます。まじめにひたむきに頑張る組合員一人ひとりが今後も高い意欲・活力を持って働いた上で、生活の安定・向上を図っていくためにも、私たちは一体となって着実に取り組みを前進させなければなりません。そしてどんな厳しい環境下においても、職場の協力、努力、成果を踏まえた「人への投資」こそが、難局に立ち向かう組合員の大きなエネルギーとなり、スズキグループ全体の持続的発展の基盤になるという信念を全員で共有することがなによりも大切と考えます。

今後、職場討議にあたり、情報・情勢の認識に加え、働くものとしての“信念”についてもしっかりと認識を合わせた上で、一人ひとりの積極的な参画をお願いいたします。

冒頭に加藤会長の挨拶。全員の知恵と力で、生活を守り高めていくための活動の推進と、希望ある社会づくりに向け、皆でチャレンジすることを呼びかけました。

スズキ労連 2011年総合生活改善の取り組み

具体的要求内容抜粋

- 賃金引上げ
 - ①平均賃金引上げ 賃金制度維持分
すべての組合は、現状の賃金水準を維持するため、賃金カーブ維持分確保を大前提とする。尚、賃金改善分については、生産性向上などの会社施策に懸命に協力する組合員の努力・成果、賃金実態を踏まえた格差・体系の是正等を重視し、各組合が主体的に取り組む。
 - ②個別ポイント絶対水準要求
・現行のポイント水準を基準(35歳・高卒・勤続17年・技能職<但し、製造部門以外はそれに準じた職種>4人世帯)とし、賃金改善分については、各組合の判断により設定します。
・各組合は、以下の基準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指すこととします。
基準Ⅰ 293,000円 基準Ⅱ 262,000円 基準Ⅲ 236,000円
 - ③企業内最低賃金協定の締結
18歳……154,000円以上
 - ④年齢別最低保障賃金
20歳 159,000円 25歳 178,500円 30歳 212,000円
35歳 235,000円 40歳 253,500円 45歳 262,500円
- 年間一時金
 - ①月数 年間5ヶ月以上を基準とする。最低でも昨年獲得実績以上とする。
 - ②要求基礎 要求基礎は、賃上げ引き上げ後の基準内賃金とする。
 - ③最低保障制度 40%以上を基本とする。
- 労働時間短縮
 - ①所定労働時間1952時間未満組合は、その達成に向けて取り組む。
 - ②有給休暇取得向上の取り組み
 - ③所定外労働時間削減に向けた取り組み
36協定の年間特別延長時間引き下げの推進
 - ④労働時間短縮取り組みの基盤整備を推進
- 社会的役割を踏まえた取り組み
 - ①非正規労働者の雇用のあり方と生産変動を労使で共有
 - ②非正規労働者について、コンプライアンス点検の徹底
 - ③企業内最賃の締結。水準引き上げの取り組み
- 政策制度課題への取り組み
 - ①上部団体と連携し法案の審議過程や成をフォロー
 - ②自動車関係諸税の軽減・簡素化の動向フォローおよび情報展開

【取り組み日程】

- 要求提出
・スズキ労組 2月16日(水)
・スズキ労組以外 2月23日(水)
- 統一交渉日
第一回目 2月23日(水)
(統一交渉ゾーンは計3回設定します。)
- 回答指定日
業種ごとの課題を整理した上で、製造部品輸送部門は3月内決着を、販売部門は4月内決着を基本に取り組みます。

「2011年総合生活改善の取り組み」スローガン採択
守り抜こう生活、切り拓こう明るい未来!
ともに着実な実践で

第7回 連合・ILEC

働く仲間と
その家族の公募展

幸せさがし文化展

作品大募集!

4月28日(木)まで受付中!

今年も、働く仲間とその家族の公募展、『連合・ILEC幸せ探し文化展』の募集が始まりました。俳句・川柳・絵画・写真・書道について、募集しています。詳しくは、組合事務所または書記局へお問い合わせ下さい。ご応募お待ちしております。



主催：連合・ILEC
後援：退職者連合
協賛：中央労福協・労金協会
全労済・
財団法人総評会館
財団法人日本労働会館
株式会社友愛会館
協力：NHK学園

東京ディズニーリゾート マジックキングダムクラブ



メンバー募集 & メンバースカード 更新のお知らせ!



スズキ労連加盟の組合員の皆さん、マジックキングダムクラブをご存知ですか?
東京ディズニーランドをお得に利用できるこのシステム、会費は無料で今すぐ入会できます。
今まで会員になられていた方、カードの有効期限が2011年3月末までですので更新手続きをお願いします。
新カードは、旧カードの有効期限を待たずに更新できます。
会員だった方、これから会員になりたい方、詳しくは組合事務所または書記局へお問い合わせ下さい。
マジックキングダムクラブの詳細については、スズキ労連ホームページの福利厚生内『東京ディズニーリゾートマジックキングダムクラブ』にも掲載されています。

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望が ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : kosugi@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関誌
共通パスワード… saw2007



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

仕事、職場、労働条件、
コンプライアンス、人間
関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、
職場ではちょっと
相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073

*月～金 9:00～19:00
相談無料・秘密厳守

加藤会長 挨拶（要旨）



本日の中央委員会は、2011年春の取り組み方針を決定する場と同時に、大きな時代の変化点の中で、みんなの力で安心の未来を切り拓いていこうという決意を確認していく場としていきます。

取り巻く環境

昨年のはじめはエコカー補助金をはじめ、公的資金の投入などの効果と中国、インド、ASEANなどの新興国の旺盛な需要に支えられ、職場の一部でも景気の回復調を感じるまでになりました。しかし、現在も財政問題を抱える欧州やデフレ懸念が高まる米国、金融引き締めに転じた中国など世界経済は不透明感を高めており、今後も様々なリスクを想定しておく必要があります。また、これまでの欧米中心だった世界経済や産業構造が大きく変わりつつあり、日本経済も長期間のデフレと円高の進行の中で、産業としても大きな岐路に立たされていると感じています。

自動車産業の状況

2010年の国内四輪生産台数は、962万台と、昨年の793万台からは上回ったものの、10月からは3ヵ月連続して前年割れとなっています。また、自動車産業の雇用確保の目安である1000万台を下回るの、消費税が3%から5%に引き上がった翌年の1989年とITバブル崩壊により、国内企業の倒産やリストラのあった2001年、そして昨年の2009年に続き2年連続となります。国内販売は、495万台と6年ぶりに前年を上回ったものの、ピークであった1990年の777万台からは6割程度となっており、本年の予測も446万台と1970年代の需要水準まで落ち込んでいます。

二輪の国内生産も、2000年には240万台あったものの、2007年には167万台、2008年は122万台、2009年は64万台、そして2010年は66万台と5年ぶりに前年を上回ったとはいえ、深刻な状況が続いています。世界に目を向ければ、欧米市場の成熟化とこれまで新興国といわれた国の急激な市場拡大など世界市場の構造変化に加えて、地球環境課題を背景とする環境対応車への社会的なニーズの高まりなどによって、産業革命といわれるほど、歴史的な産業構造の転換時期に、私たちは立っているのではないかと感じています。

こうした状況の中で、何と言っても私たちの生活基盤は国内であり、いかにして国内の事業基盤を維持・強化し、雇用と生活を守っていくのかという重大な命題に直面していると思います。また、長期間に亘ってこの円高基調は、想定以上の規模とスピードで海外生産へのシフトや現地調達への拡大につながりかねない要素を含んでいます。

私たちが、上部団体である自動車総連や金属労協の日本の製造業と雇用を守る取り組みに参画していくとともに、個別労使においては、職場とのコミュニケーションを基軸とした、日本の持つ強みである労使の信頼関係をさらに育んでいく必要があります。スズキ労連も、グループ内での労使の共通認識を更に高めながら、永続的に雇用と生活を守り抜くための活動を展開してまいります。

春の取り組みに向けて

2011年の春の取り組みは、総じていえば世界経済、産業、企業状況、ともに先行きの不透明さ、厳しさが継続する中で、雇用を守り、賃金の底割れを防ぐという、重要な意義を持つ取り組みになります。春の取り組みにあたり、自動車総連は、働く者の生活を守り、景気の下支えを図る観点から、すべての組合で、現状の賃金水準を維持する賃金カーブ維持分の確保を大前提とした上で、賃金実態を踏まえた賃金体系の是正や組合員の努力・成果などを重視し各組合が主体的に取り組むこととしました。

また、企業内最低賃金の取り組みを強化するとともに、同じ職場で働く非正規社員のコンプライアンスの徹底と公正処遇の確立に向けて、社会的な役割を果たしていくこととしました。

私たちスズキ労連も、厳しさが増す産業・企業実態を直視しつつ、これ以上の内需の落ち込みをくい止めるという労働組合の社会的責任という観点、組合員の暮らしを守るという観点、人への投資という観点から、今賃金交渉の取り組みを進めてまいります。

また、本年は自動車関係諸税の車体課税の議論が山場を迎えます。税金の納得性と同時に、軽自動車に関わる課題については、スズキ労連として極めて大きな雇用課題として捉え、責任ある考え方や意見を発信してまいります。

2011年の春の取り組みにあたり、職場とのコミュニケーションをもとにして、労使で永続的な生活の安定と企業の持続、人の活力という共通のテーマに沿って、率直かつ誠実な議論をしていきましょう。

労働時間について

総労働時間の短縮は、賃金・一時金と並ぶ、第3の柱として位置付け取り組みを進めています。2年前には、部品で1組合と販売部門、昨年春の取り組みにおいては、部品関連の9組合が所定労働時間短縮の実現を果たしました。昨年の交渉過程において、経営側は所定短縮については賃金の引き上げに等しいとの見解を出しつつも、各組合の熱い思いに応えるとともに、今後も成果を検証した上で時短論議を進めていくこととしました。本年も、厳しい交渉が予想されますが、労使で真摯に成果の検証を行いながら、確実な前進への道筋をつくってまいります。

政策制度改善の取り組み

日本は2005年をピークに2046年には1億人を割るという人口減と65歳以上の人口比率が2005年の21%から2025年には30%超え、2050年には40%という高齢化が進む中で、深刻な財政危機が続き、国も地域も活力が低下しています。また深刻な就職状況に加え、労働者人口6200万人の内34%の2160万人が年収200万円以下という所得格差の課題など、今の日本には、国も地方も政策の実行を停滞させることは許されない状況にあります。こうした中で、本年4月に施行される統一地方選挙においては、「田口章」、「徳光卓也」をはじめ推薦する私たちの代表全員の必勝を期して取り組みを進め、各地域から公平・公正で安心できる社会を築いてまいりたいと思いますので、よろしく願っています。

今後に向けて

この中央委員会と定期大会は、職場の組合員みなさんにスズキ労連として、メッセージを伝えることのできる貴重な場と考えています。毎年節目において、変化する経済状況や社会状況、そして、スズキグループを取り巻く環境や課題を労働組合として働くものの立場で真剣に捉えながら、安心した生活に向けての運動の方向性を示し、議論していくことは極めて大切なことと思います。しかし、今回、現在の私たちを取り巻く環境を考察した時に、従来とは異なる感覚を覚え、この10年間のメッセージを読み返すとともに、現在の状況に至る歴史を振り返ってみました。歴史には、大きな変化点があるといわれます。振り返れば、現在の大きな変化点は、1985年のプラザ合意から始まったとされる日本国内のバブル経済と崩壊、時を同じくして1990年前後に起こったベルリンの壁の崩壊に象徴される東欧革命などによる東西の冷戦終結からの世界的な自由経済の転換期があったように感じます。そして、1990年以降の日本は、バブル崩壊後の不良債権処理による企業の倒産や世界的な自由競争の中で、日本は内外の環境変化に対応できずに、生活面でも格差が拡大し、失われた20年といわれる20年であったと思います。

この間、常に私たちスズキ労連の運動の底辺にあったのは、雇用と生活を守り抜き、その上で社会的な責任を果たしていこうということであったと思いますし、毎年労使で環境認識を共有化しながら、全員の知恵と努力でここまで乗り切ってきたと考えています。しかし、今回のリーマンショックと言われる世界同時不況により、これまでとは異なる新たな方向性が見えてきたような気がいたします。これまでの失われた10年・20年を取り戻そうという思いから、今後は原点に立ち返り、新たに創り直すという気持ちで希望と勇気を持って前向きに取り組んでいくことが大切だと感じています。

そして、労働組合の役割も明確です。私たち労働組合の役割は、どんな環境にあっても知恵を出し合い、助け合いと職場のコミュニケーションという労働組合の持つ基本部分を守り育てていくことで、職場のやりがいやモチベーションを高め、そのことが永続的な生活の安定と企業の発展に導いていくことだと思います。新たな時代を迎え、スズキ労連全員の知恵と力で、生活を守り高めていくための活動と希望ある社会づくりに向けて、みんなで元気に新たなチャレンジしていきましょう。みなさんのご支援とご協力をお願い申し上げます。執行部を代表しての挨拶とします。

【報告承認事項】（報告者）

- ①第39期中間活動経過報告(根木事務局長) [拍手にて承認](#)
- ②第39期中間会計決算報告(堀副事務局長) [拍手にて承認](#)
- ③第39期中間会計監査報告(嶋津会計監査人) [拍手にて承認](#)



根木事務局長



堀副事務局長



嶋津会計監査人

【議件】（提案者）

- ①2011年総合生活改善の取り組み方針(案)(光田中執) [挙手にて承認](#)
- ②平成23年統一地方選挙必勝決議(案) (山本(満)副会長) [拍手にて承認](#)



議会報告後、静岡県議会議員選挙に向け決意表明を述べる、田口 彰 顧問



必勝決議を受け、決意表明を述べる徳光 卓也 浜松市議会議員選挙推薦候補



光田中執



山本(満)副会長

【各委員の皆さん】（☆印は委員長）

- 議長： 井上博勝(スズキ労組大須賀支部)・稲垣仁司(スズキ部品浜松労組)
- 資格審査委員：☆杉本和義(スズキ労連中執)・嶋将吾(ベルソニカ労組) 太田泰生(スニック労組)・鈴木紀充(スズキ販売労組)
- 議事運営委員： 野澤卓司(スズキ労連中執)・増井啓証(スズキ精密工業労組) 鈴木保夫(エステック労組)・日向総一郎(浜松パイプ労組)
- 書記： 竹下太二(スズキ輸送梱包労組)・青葉美奈子(スズキ労連)
- 会：☆平塚訓孝(スズキ労連中執)



議長団 左:井上博勝(スズキ労組大須賀支部) 右:稲垣仁司(スズキ部品浜松労組)

2011年 総合生活改善の 取り組み

企業内最低賃金の要求とは？

スズキ労連の春闘の要求項目の中には、『企業内最低賃金協定の締結』という項目があります。今年も、154,000円以上という水準目標を掲げて取り組んでいますが、そもそも、「企業内最低賃金と何か?」、「何故必要なのか?」など、最低賃金の素朴な疑問について考えてみましょう。

Q. 企業内最低賃金とは？

A. 企業(会社)における、保障される最低の賃金です。それぞれの会社ごと個別に、労働組合と会社が交渉し決定します。まず、労働組合として会社に要求することが必要です。

Q. 企業内最低賃金は何故必要なの？

A. 企業内最低賃金を決めることによって、その企業で働く従業員全員や組合員の賃金の底支えをして最低限の生活を守ることができるため非常に大切で必要です。また、産業別最低賃金など公的最低賃金や地域で働く仲間の最低賃金への関わりも深く、労働者全体にとっても非常に重要な賃金項目です。